

「ひとりぼっちにしない支援を目指す」

～生活保障と地域生活・新しい日本の福祉に期待して～

～重症心身障害と言われる方々との関わりを通して～

有限会社しえあーど 代表取締役

NPO 法人 地域生活を考えよーかい 代表理事

李 国本 修慈

前略

鳥取（あるいは米子）のみなさん、こんにちは。

兵庫県伊丹市というところからやってまいりました李国本修慈（りくにもとしゅうじ）と申します。

今回は「ひとりぼっちにしない支援を目指す」ということでの話しをということですが、私（たち）の行っていること、決して「自ら先陣を切り開く（開催パンフの文言から）」といった感じでは無いのですが、今日は、少し、私たちの行っている（行なってきた）活動をお伝えしながら、正にみなさんと共に「新しい日本の福祉に期待（これまた開催パンフの文言から）」したいと思っています。

まず、私、李国本修慈（りくにもとしゅうじ）と申しますが、少しややこしいネーミング（？）私が在日三世ということで、本名が「李」（「り」あるいは「い」）で通名が「国本（くにもと）」ということで、このような表記をさせていただいています。

少し伊丹市について説明させていただきますと、大阪と神戸との間の阪神間という位置に在りまして、人口が20万人弱、空港（大阪空港）があって、自衛隊が在り、お酒造りの街といったところが特色かな?と思います。尼崎・西宮・芦屋の阪神南圏域に対して、宝塚・伊丹・川西・猪名川を阪神北圏域とされています。

さて、私たちですが、「有限会社しえあーど」という法人として、主に「居宅介護（重度訪問介護・行動援護を含む...何故か伊丹市は行動援護の支給決定者が多いです...が、事業者は至って少ないです...余談）」、「短期入所」、「相談支援（指定）」、「移動支援」、「日中一時支援」、「訪問看護」といった事業を行っています。

それと、別法人「NPO 法人地域生活を考えよーかい」として、移送サービス、自費サービス、その他の活動（地域の催し参加、情報提供、イベント開催など）を行なっています。

現在、利用者数が、約200名（毎月のご利用がある方は160名くらい）で、特に障害（といわれるもの）の種別や程度に関わらずの事業を行っているのですが、その半数以上の方が「重症心身障害児・者」といわれる方々です（資料1:しえあーど利用者さん障害種別・程度など参照）。

更に気管切開や経管栄養等、医療的ケア、あるいは医療ニーズが高いとされる方々が多くいらっしゃいます。このあたりが、今回、お招きいただいた所以であるかと思いたすので、そのあたりを重点的にお伝えできればと思います。

私の活動の原点は、20 年少し前程、とある施設（重症心身障害児施設＝児童施設で医療機関ですね）で働く事になった際に、その空間に圧倒（カルチャーショック？）されたことに遡るのかと思います。

当時、学生（なんか看護学校に通うことになりまして...現在は鈍感な看護師ということで、鈍看（どんかん）といいます...笑）でした私は、そこで働きながら（昼間は学校、夜はお仕事...みたいな感じの勤労学生？）驚くべき光景を見た（見てしまった）ものです。

例えば、夕食は 16 時過ぎから...、とか、15 時から翌朝 10 時頃まで、部屋の中に所狭しと並べられた柵付きベットで過ごす多くの方々（しかも、当時の私よりも年上の方がほとんどでした）お風呂は週に 2 回、しかも半日かかっていた、約 50 名の方を 5～6 名の職員がまさに芋の子を洗うように（そこには同姓介助だとかも無く）...とか、ほんとに驚いたというか、この世のものかと思ったのを今でも鮮明に覚えていたりです。と、言いつつ、今思えば、そんな環境にも慣れていっていた自らにぞっとしたり...なのですが。

そんなお話しをすると、とめどもないので話を元に戻すと、その後、精神科医療や、重症心身障害児者施設での経験を経て、入所施設者の方へのガイドヘルプ活動等を行っている最中、1990 年代頃だったでしょうか？、各地での、当時はレスパイトなどと言っていたように思うのですが、そんな草の根活動や、重症児施設での通園事業が始まりだし、私もその事業に外部から関わる中、施設の中以外＝地域に多くの障害者といわれる方々が暮らしているということを実感し、それでは!と思い、数年の準備期間を経て、2000 年 9 月、尼崎市に「地域共生スペースぷりぱ（後に NPO 法人化）」<http://www.puripa.net/>をオープンさせました。

その際の需要の表れは凄まじく、都市部であり、例えば近隣には重症心身障害児施設（砂子療育園）や青葉園（西宮市社会福祉協議会）等がありながら、あっという間に利用登録者数は 300 名に達しました。

当時は、現在のような制度がなかったものですから、1 時間 1000 円で、いわばなんでもしますという文言を基にしたサービスを中心に、ガイドヘルプ事業、全身性介護人派遣事業等を組み合わせた活動をしていました（もちろん 24 時間体制で）。

中でも「緊急一時保護者制度（県の事業）」（預かり及び宿泊をした者に対しての謝礼を行政が支払うといったような制度）があったのですが、それまでは全県で年に数件ほどだった実績が、3 年経たない間に事業費が 1000 万円を超える事業費（私たち以外にも同様の活動体ができてきていましたので）になったと言いますから、その需要は間違いなくあったということだったのかと思います。

その中でも、重症心身障害、更には医療的ケアを要する方々への支援（というか、そもそもの自宅以外での活動の場や他者との関わりそのもの）が決定的に不足している（というよりも、あまり誰も真剣に考えてないのでは?）と感じたものです。

私たちは、重症心身障害といわれる方々と関わってきたという経験もあり、また、嘘でも（本当なのですが、一応...）看護師なんちゅう輩でもあったこともあり（と言いつつ、

そんなことは、ほとんど関係ないと思っているのですが...) そういった方々への支援(という言葉も偉そうで嫌いなんです...)を中心に行なってきました。

2000年というのは、介護保険が開始となった年、更には「利用契約制度」という名で、その3年後には、障害福祉サービスも措置から契約へ!、地方分権と規制緩和、いわゆる福祉基礎構造改革ということが高らかに言われていたように記憶しています。

そして、そんな怒涛のような需要に対し、尼崎市の北隣の伊丹市に2003年4月に「有限会社しえあーど」と「地域生活を考えようかい(後にNPO法人化)」  
<http://www.kangaeyo-kai.net/> を設立しました。

その理念や活動内容は、「地域共生スペースぷりぱ」と同様ですが、2003年は「支援費制度」が開始になった年、ようするにそれまでの活動がサービス提供となり、利用契約となったということで、それは、私にしてみれば、これまで時間単価が1000円だったのがイッキに4倍(居宅・身体介護1時間あたり)になる(成った)訳ですから、(収益)事業にならない訳が無い、もう少し言うと、非営利活動等とも言えない(のではないかと?)という状況になるとも思いました(ので、有限会社という形態をとりました。収益事業以外の活動をNPO法人で行っています)。

当時(から)やはり重症児・者と言われる方々、更には医療的ケアを要する方々と関わっていく際には、やはり「医療」が必要(というか、切っても切れない)と感じていました、設立と同時に「訪問看護ステーション」も立ち上げています。

その際、ラッキーなことに某県立病院の、しかもNICUでの経験もある看護師3人(それぞれが子育て世代で、外来勤務の中、出世後の子供さんとご家族との関わりがあることや、自らも病院外での働きを望んでいたりで)が、春以降の職場を探しているということで、そこを上手く(?)騙し(???)引き寄せ、「月・金・10時~16時で、ひと月15万でどうだ!」ということでゲット(!!!)しました。

そんな無茶な?と思うかも知れませんが、全然無茶でもなんでもなくって、私自身、毎日5件は入浴介助に走り回って(いや、お湯に浸かりまくって)いましたので、ざっと5件回りますと、4,000円×5=20,000円!、で、×30(月に30日は働きますから!、それでも31日ある月は1日休みがある!、でも2月は大変!!)で600,000円になりますから、看護師みなさんにぼーっとしていただいても(実際には、ぼーっともしていただいてもおらず、一緒に訪問、二人介護で報酬額倍増だとか...それ以上に「経験」ですね 看護師さんたち、なかなか医療モデル的な発想を拭うのに時間がかかりますから...、お一人には長期研修でキャリアアップしていただいたりしていました)15万円ずつ支払っても(45万円なんで)15万円残りますし、入浴介助も18時以降に行くと4,000円が5,000円に化ける(!?)ということで、これはしっかり事業となる訳です。

そうこうしている間に、当初はぼろっちいちゃな事務室(にパソコン1台と手洗いのみ...)から、マンションの一室に変わり、兵庫県の震災復興に関するコミュニティ・ビジネス離陸応援事業等の助成金等を得て、空き倉庫を利用したスペースを創り、活動拠点

としました（そこには大きなお風呂...と言っても既成のユニットバスの最大級のものを備え付けました）。

その際の考え方は、スペースはあくまで「拠点」であり、そこ（場所）を利用するカチは、例えばデイサービスや生活介護というモノ（場所を基本とした給付による利用）ではなく、主に移動支援（重度訪問介護）等を中心としたモノ（ご本人さんを基本とした個別給付による利用であるという）であること、それでない「重度」などという方々（のみでは無いと思うのですが）の支援は行い難いでしょうし、そのカチこそが、重度などと言われる方もそうでない方々にとっても（この考え方の方が適切/大切かと思います）「その人らしい」活動ができるものだと考えています。

その背景には、尼崎市や西宮市（双方共に約 45 万都市）における重症心身障害児・者と  
いわれる方々の日中活動場所の不足（前述の重症心身障害児施設砂子療育園の通園事業や  
青葉園の生活介護等も週に 5 日は通えない...2~3 日/週の利用）があるのですが、そうい  
った取り組み（個別給付での独自の活動）が、例えば西宮市社会福祉協議会での西宮北部地  
域での活動や、尼崎市の「ヴィ・リアル生活支援センター」が運営する「バリ雑貨店ジャ  
ム・ルガ」での活動等を産み、私たちは、その在り方を実体化していきたいと考えていま  
す（上記の取り組み等については大熊由紀子さんの HP ゆき・えにしネット  
<http://www.yuki-enishi.com/index.html> 優しき挑戦者（国内編）（64）ゆき@尼崎・伊丹・  
西宮、人工呼吸器をつけていても町の中で に少し触れていただいています）。

加えて、私たちの活動（事業）は、日中活動の場を持たないことが特徴（かな?）で、言  
わば「隙間を埋める」活動であると言えるのかも知れません。

只、例えば訪問教育を受けている学齢期のお子さんや、出世以後間もない NICU から退  
院されてきた子どもさんたちが通うスペースにもなっていたり、前述の日中活動場所へ通  
えない日の独自活動としての利用、更には、日中活動の場を持たない（所属先が無いとい  
う方々も少なくありませんので）方々の利用スペースにもなっています。それらの方々も、  
出来る限り、ご本人さんのプランを立てての個別給付（移動支援等）でご利用いただい  
ています。

また短期入所では、単独型事業所というカタチでは在りますが、日中に関わりを持たせ  
ていただいている方たちと同様に、例えば人工呼吸器を利用している方々など、医療ニ  
ーズが高いとされる皆さんにもご利用いただける体制でいます。

ここで、医療的ケアという文言についても、私たちなりの考えを示しておきたいので  
すが、上記にある短期入所、または、このいけスペースでの活動等においても、吸引や経  
管栄養・人工呼吸器管理だとかは、関わるスタッフ（医療職では無い）が行なう（行える）  
ようにしています。

訪問看護の目的は、ケアを（看護師が）担う（行なう）ことではなく、ご本人さん及び  
支援する（というか共に過ごす・暮らす）スタッフ共にへの後支えという役柄と位置付け  
ています（と言うか、そのような職種で線引き...対象者を限定することもなく、ただ親密

に関わる中で、相対する方（人）への様々な支援手技はできるようになるものです）。

そういう意味では、現在行なわれています「介護職員等によるたんの吸引等の実施のための制度の在り方に関する検討会」の議論は、どうしても「人」を輪切り(?)にしたような「手技（ケア?）」を基にした議論であるように思えてなりません。

それから（2003年以降）7年ほど経た昨年（2010年）9月に、新たな拠点として「新・こうのいけスペース」をオープンさせました。

二階建てのこの建物、やっている事業は「短期入所（定員6名）」と「日中一時支援」などがあるのですが、多くの部分をフリースペースとして用い（お風呂も3つあり、毎日10件程の利用があります）それぞれの方々が自由に拠点として利用いただいています（うち、2階の一室は、二年前に母親が他界された方が暮らしています...その他3つの居室も近い将来、何方かが住まうことになるかと思われます...が、カタチはケアホーム等ではないようにと考えています...もちろん終の棲家でもなく）。

その在り方は「箱（ビル）」では無い「お家（おうち・ハウス）」ということで、ぜひ、こちらにお越しの際には、立ち寄っていただければと思います。新たなこうのいけスペースについては、以下をご覧ください。

<http://www.kangaeyo-kai.net/info/info100901.html>

<http://www.trust-kyowa.co.jp/sekourei/sonota/photo-sheard.htm>

最後に、今回のテーマである「ひとりぼっちにしない支援」についてですが、なかなかこういった活動（事業）をしている中、そういった言葉が本当に空しく感じることも少なくありません。未だに我が街（伊丹市）で、「家族ぼっち」だったり「母子ぼっち」「父子ぼっち」という方々に出会う日々です。

どうということが「ぼっち」にしない支援なのか?、それは支援なのか?とか、本当に解らないだらけの中での取り組みなんです、日々悩みながら、スピード感の無い中、申し訳ないと思いつつ過ごしているという状況です。

そして、私たち、重症心身障害といわれる方々と関わらせていただいている中で感じることは、彼等こそが主体的に生きていく、暮らしていくということを共にに行なっていくということこそが、現代の大切な価値観になっていくものかと思っています。

「一緒（共）に暮らそう!」って言うけれど、みんな（支援者などという人たち）は帰ってしまうじゃないか...そんな言葉が重く心に響く日々です。

そのあたりをみなさんと本気で本音で本腰で考えられればと思います。

その他、こんな活動も充分事業に成り得るということで何点かの資料を付けています。

また、昨年、私どもの行なった事業（フォーラム等）の報告書を以下に掲載していますので、私どものホームページと共にご覧いただければ幸いです。

<http://www.kangaeyo-kai.net/chiiki/chi100626.html>

本日お話しした内容（この記事も）も当ホームページに掲載していますのでご覧ください。

地域生活を考えよーかい <http://www.kangaeyo-kai.net/>

草々

しえあーど利用者さん 障害種別・程度など

性別・年齢区別せず、洗腸・排便等は記載せず

1	知的・てんかん				
2	知的・てんかん				
3	神経性難病				
4	知的				
5	知的・てんかん				
6	知的・てんかん				
7	重症心身/者				
8	知的・てんかん				
9	重症心身/児				
10	重症心身/児				
11	重症心身/児	経管栄養(胃婁)	吸引		
12	知的/心疾患				
13	重症心身/児	気管切開	経管栄養(胃婁)	常時O2使用	
14	重症心身/者				
15	重症心身/児	気管切開	経管栄養(胃婁)	常時O2使用	呼吸器使用
16	知的				
17	脊髄損傷	呼吸器使用(マウスピース)			
18	重症心身/者	経管栄養(胃婁)	吸引		
19	重症心身/者				
20	重症心身/者				
21	重症心身/児	経管栄養(鼻腔)	吸引		
22	重症心身/児	気管切開	経管栄養(胃婁)	常時O2使用	呼吸器使用
23	重症心身/児				
24	重症心身/者				
25	神経性難病				
26	知的・てんかん				
27	重症心身/者	経管栄養(胃婁)	吸引		
28	神経性難病				
29	重症心身/者	経管栄養(胃婁)	気管切開		
30	知的・肝疾患				
31	重症心身/児				
32	知的				
33	神経性難病(筋ジス)	呼吸器使用(BiPAP)	吸引		
34	神経性難病(筋ジス)	気管切開	経管栄養(胃婁)	呼吸器使用	
35	知的				
36	重症心身/者	経管栄養(胃婁)			
37	重症心身/者				
38	重症心身/者	経管栄養(胃婁)	吸引		
39	知的				
40	重症心身/者				
41	重症心身/者				
42	脊髄損傷	膀胱婁			
43	重症心身/者				
44	重症心身/者				
45	重症心身/者	気管切開(喉頭全摘)	経管栄養(胃婁)		
46	重症心身/者	気管切開	経管栄養(胃婁)	留置膀胱カテーテル	
47	重症心身/者	気管切開	経管栄養(胃婁)	呼吸器使用(夜間のみ)	
48	神経性難病(ALS)	気管切開	経管栄養(胃婁)	呼吸器使用	留置膀胱カテーテル
49	重症心身/者	気管切開(喉頭全摘)	経管栄養(胃婁)		
50	重症心身/児	経管栄養(鼻腔)	吸引		
51	重症心身/児	気管切開	経管栄養(胃婁)	随時O2使用	
52	知的				
53	重症心身/者	経管栄養(胃婁)			
54	重症心身/者				
55	重症心身/児	気管切開	経管栄養(胃婁)	随時O2使用	
56	重症心身/者	経管栄養(胃婁)			
57	重症心身/者				
58	重症心身/者	吸引			
59	重症心身/者	経管栄養(胃婁)	吸引		
60	重症心身/児				
61	重症心身/児				
62	重症心身/児				
63	知的				
64	知的				
65	知的				
66	知的				
67	知的				
68	重症心身/者	経管栄養(胃婁)	吸引		
69	重症心身/児				
70	知的				
71	重症心身/者	気管切開	経管栄養(胃婁)	呼吸器使用(夜間のみ)	
72	知的・精神				
73	重症心身/者	吸引			
74	重症心身/者	気管切開	経管栄養(胃婁)	呼吸器使用(夜間のみ)	
75	重症心身/者	経管栄養(胃婁)	吸引		
76	重症心身/者	経管栄養(胃婁)	吸引		
77	重症心身/者	気管切開	経管栄養(胃婁)		
78	知的・てんかん				
79	知的				
80	知的				



81	知的				
82	重症心身/児				
83	重症心身/者	気管切開	経管栄養(胃婇)	呼吸器使用(夜間のみ)	
84	重症心身/者	気管切開(喉頭全摘)	経管栄養(胃婇)	常時O2使用	
85	知的				
86	知的				
87	重症心身/児				
88	重症心身/者	吸引			
89	重症心身/児				
90	重症心身/者	経管栄養(胃婇)	吸引	留置膀胱カテーテル	
91	重症心身/児	気管切開	経管栄養(胃婇)		
92	重症心身/者				
93	重症心身/児				
94	肢体不自由者				
95	重症心身/児				
96	知的				
97	知的				
98	知的				
99	知的				
100	知的/てんかん				
101	知的				
102	知的				
103	重症心身/者	気管切開	経管栄養(胃婇)		
104	重症心身/児	気管切開	経管栄養(胃婇)		
105	知的				
106	重症心身/児	吸引	経管栄養(鼻腔)		
107	重症心身/者				
108	重症心身/者				
109	脊髄損傷				
110	神経性難病	気管切開	経管栄養(胃婇)		
111	知的・てんかん				
112	重症心身/児				
113	知的・てんかん				
114	重症心身/児	気管切開	経管栄養(鼻腔)		
115	知的				
116	重症心身/者				
117	重症心身/児				
118	知的				
119	知的				
120	神経性難病(筋ジス)	気管切開	経管栄養(胃婇)	呼吸器使用	
121	重症心身/児	気管切開	経管栄養(胃婇)	常時O2使用	呼吸器使用
122	重症心身/児				
123	知的				
124	知的				
125	神経性難病(筋ジス)				
126	知的				
127	神経性難病(筋ジス)	気管切開	経管栄養(胃婇)	呼吸器使用(夜間のみ)	
128	重症心身/児	気管切開	経管栄養(胃婇)	常時O2使用	呼吸器使用
129	重症心身/者	経管栄養(胃婇)	吸引		
130	重症心身/児	気管切開	経管栄養(胃婇)	呼吸器使用(夜間のみ)	
131	知的				
132	重症心身/者				
133	知的	経管栄養(胃婇)			
134	知的				
135	重症心身/者	気管切開	経管栄養(胃婇)	呼吸器使用	
136	重症心身/者	気管切開	経管栄養(胃婇)		
137	重症心身/児	経管栄養(胃婇)			
138	重症心身/児	気管切開	経管栄養(胃婇)	常時O2使用	呼吸器使用
139	知的				
140	重症心身/児	気管切開	経管栄養(胃婇)	常時O2使用	呼吸器使用
141	重症心身/者				
142	重症心身/者				
143	知的				
144	重症心身/者	気管切開	経管栄養(胃婇)		
145	重症心身/児	気管切開	経管栄養(胃婇)		
146	重症心身/児				
147	重症心身/者				
148	重症心身/児	気管切開	経管栄養(胃婇)	常時O2使用	呼吸器使用
149	重症心身/児	気管切開	経管栄養(胃婇)	常時O2使用	呼吸器使用
150	重症心身/者	経管栄養(鼻腔)			
151	重症心身/児	気管切開	経管栄養(胃婇)		
152					
153	重症心身/児	気管切開	経管栄養(胃婇)	常時O2使用	呼吸器使用
154	知的				
155	重症心身/者	経管栄養(胃婇)	吸引		
156	知的				
157	重症心身/児				
158	重症心身/者	経管栄養(鼻腔)			
159	知的				
160	知的				
161	重症心身/児				

# 11 月売上集計表

## 1.サービス別集計

障害福祉 サービス費	相手先	11月 売上高	前月 売上高	前月比	前年同月 売上高	前年 同月比
居宅 介護等	伊丹市(282079)	4,543,786	4,620,777	76991	4,522,677	100%
	尼崎市(282020)	1,312,852	1,283,342	29510	1,170,603	112%
	西宮市(282046)	1,414,388	1,542,437	128049	1,181,157	120%
	茨木市(272112)	91,696	80,300	11396	185,218	50%
	宝塚市(282145)	27,485	6,972	20513	0	#DIV/0!
	川西市(282178)	0	0	0	30,880	0%
	猪名川町(283010)	0	0	0	0	
	居宅介護等 合計	7,390,207	7,533,828	143621	7,090,535	104%
短期 入所	伊丹市(282079)	1,009,046	928,544	80502	799,169	126%
	尼崎市(282020)	35,637	16,306	19331	69,587	51%
	西宮市(282046)	16,306	35,596	19290	0	
	茨木市(272112)			0	0	
	宝塚市(282145)	80,827	51,322	29505	0	
	川西市(282178)			0	0	
	猪名川町(283010)			0	0	
	短期入所 合計	1,141,816	1,031,768	110048	868,756	131%
移動 支援	伊丹市(者)移動	1,108,020	1,187,180	79160	959,340	115%
	伊丹市(児童)移動	358,140	394,650	36510	629,920	57%
	尼崎市移動	487,119	487,518	399	409,060	119%
	西宮市(者)移動	556,478	593,416	36938	407,069	137%
	西宮市(児童)移動	69,722	62,425	7297	24,774	281%
	茨木市(児童)移動	0	0	0	0	
	宝塚市(児童)移動	215,465	185,119	30346	31,336	
	川西市(児童)移動	0	0	0	0	
	猪名川町(児童)移動	0	0	0	22,464	0%
	移動支援 合計	2,794,944	2,910,308	115364	2,483,963	113%
日中 一時	伊丹・日中一時(者)	20,030	19,680	350	8,060	249%
	伊丹・日中一時(児)	161,770	231,810	70040	226,910	71%
	猪名川町・日中一時	0	0	0	0	
	尼崎市・日中一時	0	0	0	9,396	
	日中一時支援 合計	181,800	251,490	69690	244,366	74%
市町村負担額合計		11,508,767	11,727,394	218627	10,687,620	108%
利用者 負担額	郵便引き落とし分	153,974	179,165	25191	323,165	48%
	現金支払分	15,513	22,544	7031	30,682	51%
利用者負担額合計		169,487	201,709	32222	353,847	48%
総合計 +		11,678,254	11,929,103	250849	11,041,467	106%

訪問 看護	相手先	発生高	発生高	前月比(円)	前年同月 売上高	前年 同月比
		11 月分	前 月分			
	社会保険 支払基金	1,846,115	1,725,470	120645	1,601,390	115%
	国民健康保険	500,545	633,015	132470	644,625	78%
	小計	2,346,660	2,358,485	11825	2,246,015	104%
	利用者自己負担額				0	
	社会保険(郵便)	25,630	20,220	5410	18,590	
	国民健康保険(郵便)	50,350	55,600	5250	54,800	
	国民健康保険(現金)	19,160	21,710	2550	21,530	
	小計	95,140	97,530	2390	94,920	100%
	遷延性助成	15,975	16,175	200	10,475	
	訪問看護合計	2,457,775	2,472,190	14415	2,351,410	105%

## 2.合計表

サービス 種別	11 月売上高	前 月売上高	前月比(円)	前年同月売上	前年比%
居宅介護・重度訪問・行動援護	7,390,207	7,533,828	143621	7,090,535	104%
短期入所	1,141,816	1,031,768	110048	868,756	131%
移動支援	2,794,944	2,910,308	115364	2,483,963	113%
日中一時支援	181,800	251,490	69690	244,366	74%
利用者負担額	169,487	201,709	32222	353,847	48%
訪問看護	2,457,775	2,472,190	14415	2,351,410	105%
	0	0	0	44,450	
総売上高	14,136,029	14,401,293	-265,264	13,437,327	105%



しえあーどスタッフ09年 年間所得表

常勤

	支給額	差引支給額	賞与額	有休消化
1	4131871	3502898	550000	6.5
2	4536893	3868671	540000	5
3	2666961	2182388	480000	3
4	3080262	2537174	520000	3
5	2252769	1580949	320000	11
6	3437910	2901494	530000	2
7	3702284	3119227	560000	1
8	4359220	3850172	560000	0
9	3400474	2906820	460000	0
10	3713314	3076311	510000	0
11	3432569	2810828	370000	4
12	4102800	3548785	610000	4

非常勤

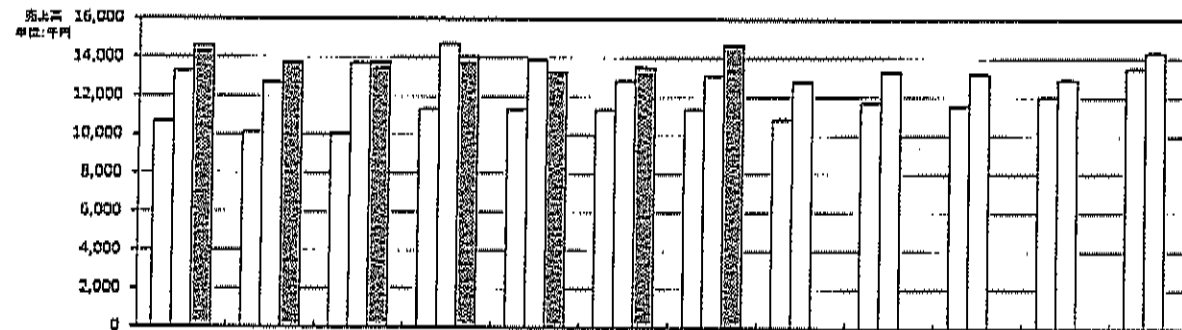
	支給額	差引支給額	賞与額
1	815180	804040	
2	1359454	1283514	
3	381137	364628	
4	202269	196269	
5	3232334	2662755	225000
6	1858565	1819505	
7	2989553	2497712	200000
8	3028756	2489572	165000
9	1215574	1181694	
10	764407	765461	
11	441725	437901	
12	755567	730820	
13	252395	252395	
14	364862	363229	
15	225467	225467	
16	139400	139400	
17	195121	194541	
18	290667	289557	
19	1900650	1722359	120000
20	1041075	1028035	
21	869425	869025	
22	494950	486210	
23	381816	381816	
24	257867	250744	
25	1270639	1215377	
26	153100	148632	
27	335700	321177	
28	958250	921385	
29	110851	101680	
30	548308	522921	
31	110463	104451	

	支給額	差引支給額
32	850025	819008
33	68973	63997
34	165135	155357
35	101668	93708
36	78200	75952
37	257867	250744
38	1750350	1652250
39	392000	372747
40	163450	155733
41	12600	12240
42	338050	328534
43	7900	7675
44	77300	75095
45	135050	131295
46	10200	9930
47	11900	11585
48	13600	13240
49	15300	14895
50	6800	6620
51	113500	110305
52	6400	6220
53	5600	5444
54	37601	37601
55	24067	24067
56	46400	46400
57	692156	700516
58	61275	61275
59	16534	16062
60	10600	10600
61	991552	944712
62	8900	8900

松田昭治(現職) 土事務所

自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日

单位: 千元

2 月別売上実績グラフ

### 3 推定報酬による利益の試算

单位	千元
一、流动资产	1000000
二、固定资产	2000000
三、无形资产	500000
四、其他资产	100000
五、负债	1500000
六、所有者权益	2000000
七、其他权益	100000
八、其他	100000
九、合计	4000000

#### 4 損益分岐点の計算

千江/里

國土商・華商株	107.453
國土發・華商株	108.031
愛知電・京西株	
國土商／國土商	MN、4%
愛知電／國土商	
損益分貼点	108.031